

台東育英

VOL. 21 台東区立台東育英小学校

No. 7 校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidoukuei-s/>

楽しく安心して過ごせる学校づくり

校長 瀬下 清

11月（霜月）となり、明け方には霜が降りてくるほどの寒い季節となってまいりました。先月は、創立20周年記念体育発表会にご参観いただき、誠にありがとうございました。長く続いた緊急事態宣言や引っ越しなど、多くの制約の中での体育発表会の練習でしたが、ご家庭でのご協力をいただきながら、子供たち一人一人は、一生懸命に取り組むことができました。

さて、11月は「ふれあい月間」です。本校では、教職員をはじめ、スクールカウンセラーの積極的な活用など、どんなことでも相談しやすい環境づくりに努めてきているところです。特に、今月は、いじめ防止強化月間として、不安や悩みを安心して打ち明けられるよう子供たちへのアンケートも実施いたします。子供たちには、これまで「一人一人がかけがえない大切な存在であること」「不安や悩みがあるときには、できるだけ早く身近にいる大人に相談すること」「友達から悩みや不安を伝えられたときには、よく聞いてあげて、大人に相談するように伝えること」など、折あるごとに指導を重ねてきております。

先日、2020年度の学校におけるいじめ認知件数が発表されました。これによりますと、2013年度以来、いじめ認知件数は7年ぶりに減少しております。このことは、新型コロナウイルスの感染拡大によって、学校の教育活動が制限され、児童生徒間の接触が減ったことが理由とみられるとのことです。ただ、スマートフォンやSNSなどを使ったいじめの増加傾向が続いています。引き続き、児童がインターネット等の情報通信機器を用いてのいじめやトラブルに巻き込まれないようにするため、ご家庭とも連携をしながら、SNSルール等を指導していきたいと思います。

いじめは、どの学校でもどの学級でも起こり得るという認識に立った上で、「いじめを生まない、許さない学校」として、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に学校が丸となって取り組んでまいります。特に、子供たちが、楽しく安心して過ごせる学級・学校の風土をつくるためには、全ての教室で「魅力ある授業」が展開されることが基盤となっていきます。それは、子供たちにとって分かる授業であり、子供たち同士が話し合い、学び合う授業です。そして、魅力ある授業の基盤の上に、子供同士が互いの良さを認め合っています。教職員と子供たちとの信頼関係をさらに深く構築しながら、台東育英小学校が、子供たちにとって、楽しく安心して生活できる場としていけるよう一層努力をしていきたいと考えています。

創立 20 周年記念式典

副校長 原 之雄

台東育英小学校は平成13年に、共に120年を越える歴史と伝統をもつ、育英小学校と柳北小学校が統合して開校しました。そして、今年度、地域や保護者の皆様方に支えられて、創立20周年を迎えることができました。

コロナ禍の中での20周年ということで、本当に様々な制約がありました。地域・保護者の皆様による20周年記念事業実行委員会と学校が連携して準備を進め、11月13日(土)に創立20周年記念式典を挙げる運びとなりました。これもひとえに台東育英小学校を愛するたくさんの方々のお力添えのおかげと心から感謝申し上げます。

20周年のテーマは「ホープフルフューチャー」です。記念誌のクラスページには、子供たちの様々な「将来の夢」が溢れています。「プリンセスになりたい」という1年生らしい夢から、「常識をくつがえせる人になって～」という6年生の夢まで、小学校ならではの幅の広さ、そして成長を感じさせるものです。誰もが自分なりの思いや夢をもっていること、素晴らしいことだと思います。そして、それらを互いに伝え合い、感じ合えること、とても素晴らしいことだと思います。ぜひ、ご覧ください。

11月13日(土)記念式典当日の日程

登校 8:00～8:15 お祝いの会 8:30～8:50 1～5年生下校 9:10

記念式典 10:00～11:00 *6年生のみ出席 6年生下校 11:20

* 記念誌や記念品等を持ち帰りますので、手さげを必ず持たせてください。



学年で取り組んでいること

3年生担任 伊藤幸恵 高橋芳絵

国語「ちいちゃんのかげおくり」では、各場面を比べて、人物の様子や出来事の違いとその理由について考えました。

物語を読んで、感じたことをまとめるという課題を設定し、単元全体の見通しをもちました。作品を読むにあたり、その場面がどんな色に感じるのか、それはどういう理由からそう感じるのか、叙述をもとにして考えていきました。

家族4人で「かげおくり」をし、空に浮かぶ真っ白な影法師を記念写真のように感じた出征の前日。赤い炎のうずが追いかけてくる空襲の恐ろしさ。灰色の煙が立ち込める、焼けてしまった町。青い空の下、一人ぼっちで「かげおくり」をしたちいちゃんの体が軽くなり、空色の花畑にすいこまれていく様子。

これらのことから、戦争の悲惨さ、物語に込められた平和への願いなど、3年生の児童なりに捉えていました。

最後に、学習したことをまとめしながら、自分の考えを深める時間をじっくり取りました。ご家庭の方に向けて、学習を通して感じたことや考えたことを書きました。

子供たちの感想から、私たちの暮らす日本も、他の国も、地球の全てが、平和であり続けることを願う気持ちが伝わり、そんな3年生の子供たちがこれからの未来を拓くのだと改めて感じさせられました。

算数少人数の学習について

算数少人数担当 村田将基

3年生から6年生の算数は、習熟度別少人数で行っています。その学習は、子供たちの学びにとって、良さがたくさんあります。

まず、答えは一つなのに、様々な考えが出るところです。自分はこう考えたのに、友達は違う考え方で、しかし、答えは同じという経験はないでしょうか。この多種多様な考え方を共有することが、一人では成し得ない学習となります。こうしたことから、少人数での学習は、「児童同士のコミュニケーション」を大事にしています。

次に、習熟度別学習による「自分にあった学習」です。1クラスの児童人数が減ることで、活躍の場が増え自信がついたり、不安な単元もじっくりと時間をかけたりすることができます。

最後に、どの学習でも伝えていることですが、「間違えても当たり前！」ということです。間違えるところからは、学びを深めることができます。その経験こそ大切にしたいと思います。そうすることで、テストをした時に、「あ、あの間違えた問題だ。気を付けよう。」と思出すことができます。その問題を間違えずに解けたときに、自信となり、学力となります。そうやって、自分から気付けたことを認め、褒めるようにもしています。

私は算数が好きです。子供たちにも、「算数が楽しい!」「大好き!」と、感じてくれるような学習を進めていきたいと思います。

台東育英小 ICT の約束

ICT 担当 小玉 祥史

タブレットパソコンを使うときの約束



みなさんが使うタブレットパソコンは長く使うので、約束を守って、大切にしましょう。

- ① ていねいに、やさしく使しましょう。
- ② 落ちそうなところや、ふまれそうなところに置かないようにしましょう。
- ③ 画面にさわるときは、やさしくさわりましょう。
- ④ 勝手なことや、学習に関係のないことには使いません。
- ⑤ 先生の話をよく聞くととき使うときの区別をしっかりしましょう。
- ⑥ 調子が悪いときは、手をあげて、先生に知らせましょう。
- ⑦ タブレットパソコンを他の人に貸しません。
- ⑧ パスワードやIDを他の人には教えません。
- ⑨ 個人情報(名前・住所・電話番号・写真)を書きこみません。
- ⑩ 相手がいやな気持ちになることをしません。
- ⑪ 家に持ち帰る時は、気を付けて持ち帰り、次の日に持って来ます。
- ⑫ 水や熱いものの近くに置かないようにしましょう。

台東区 GIGA スクール構想におけるインフラ整備として、一人一台タブレット端末が配布されています。子供たちも徐々に慣れてきて、ドリル学習やプログラミング、調べ学習など様々な場面で、活用しています。

慣れてきた一方で、誤った使い方をしている様子も見られます。学習に関係ないことに使ったり、長い時間使ったりせずに、上手にタブレット端末を活用できるよう指導しています。正しく使用すれば、大変便利なものですが、適切な判断ができないと、思わぬトラブルに巻き込まれることもあります。ご家庭でも、お声掛けのご協力をお願い致します。